

第4 1回空港環境対策関係担当者研修

開催案内

一般財団法人 空港環境整備協会
航空環境研究センター

目 的

空港周辺地域を管轄する地方公共団体等の職員の皆様に、空港の環境問題に関する基本的な知識を深めて頂くことにより、空港環境行政並びに空港の円滑な運用に寄与することを目的とします。

期 日

平成28年10月20日(木)・21日(金)の2日間

会 場

東京大学 生産技術研究所 総合研究実験棟(A n棟) 3階 大会議室
東京都目黒区駒場4丁目4-6-1

参 加 案 内

- (1) 定 員 **60名程度**
- (2) 参 加 料 **無 料**
- (3) 申 込 方 法
 - ① 同封の「申込書・受付票」に必要事項を記入し、下記あてのFAX
又は、メールアドレスにお申し込み下さい。
後日、申し込みを受け付けた方には、受付印及び受付番号を押印・
記入の上、FAX 又は、メールでお知らせします。
(FAX) 03 (6721) 5272
(E-mail) aerc@aEIF.or.jp
 - ② 申し込み締め切り 9月16日(金)

- ③ 整理の都合上、電話での参加申し込みはご遠慮願います。
- ④ 参加申し込み人数が定員に達した場合は、受付を締め切らせていただく場合があります。
- ⑤ 複数人数での参加希望の場合、下記担当者までご連絡下さい。
- ⑥ 2日目(10月21日)は、パソコンを用いた実習がありますので、持参できる方は持参願います。

(4) 宿 泊

手配・斡旋はしておりませんので、各自でご用意下さい。

- (5) 講師の都合により、講演の題目・内容、講義の順序に変更がある場合がありますので、予めご了承下さい。

(6) 問い合わせ先

〒105-0011

東京都港区芝公園1丁目3番1号(留園ビル5階)

一般財団法人 空港環境整備協会 航空環境研究センター

担当者 平藪好行

TEL 03(6721)5271

ア ク セ ス 案 内

◎東京大学 生産技術研究所 総合研究実験棟(A n棟)3階 大会議室
(最寄り駅)

京王井の頭線/駒場東大前駅西口から徒歩10分。

京王井の頭線/池ノ上駅から徒歩10分。

小田急線・東京メトロ千代田線/代々木上原駅より徒歩12分。

小田急線/東北沢駅から徒歩8分。

【羽田空港からのアクセス】

羽田空港→(東京モノレール)→浜松町駅→(JR山手線外回り、品川・渋谷方面)→渋谷駅→(京王井の頭線)→駒場東大前駅

【東京駅・品川駅からのアクセス】

東京駅・品川駅→(JR山手線外回り・渋谷・新宿方面)→渋谷駅→(京王井の頭線)→駒場東大前駅

周辺地図



キャンパスマップ



フロアマップ



日 程 表

10月20日(木)	10月21日(金)
受講者受付のため10時50分までにお越し下さい。	9:30~10:30(60分) (6)航空機の運航と航空管制 (休憩)
11:00~11:20(20分) (1)開講に当たって・オリエンテーション	10:40~12:00(80分) (7)航空機騒音の測定・評価方法
11:20~12:00(40分) (2)国の空港周辺対策	
12:00~13:00 (昼食休憩)	12:00~13:00 (昼食休憩)
13:00~14:30(90分) (3)航空機騒音の評価と騒音予測	13:00~16:00(180分) (8)騒音計の取り扱いと航空機騒音の測定実習 実際に騒音計を使用して航空機騒音の測定をデモンストレーション的に行います。また、測定したデータから時間帯補正等価騒音レベル(Lden)の算出は講師がその手順を紹介します。これら値の算出を実際に行ってみたいと思われる方はパソコンをご持参下さい。
(休憩)	
14:40~15:40(60分) (4)騒音に関わる健康リスク	
(休憩)	*途中休憩あり
15:50~16:50(60分) (5)航空機運航と大気環境・地球温暖化	16:00~16:10(10分) 航空環境研究センター業務紹介
	16:10~16:30(20分) 質疑応答・閉講
16:50~17:00(10分) 質疑応答	

講 義 内 容

(1) 【開講に当たって・オリエンテーション】

篠原直明 《航空環境研究センター所長》

(2) 講演 【国の空港周辺対策】

講師 江原一太郎 《航空局 環境・地域振興課 騒音防止技術室長》

概要 国土交通省において実施している「公共用飛行場周辺における航空機騒音による障害の防止等に関する法律」に基づく対策を中心として、これまでの騒音対策の経緯や予算等を概説する。

(3) 講演 【航空機騒音の評価と騒音予測】

講師 篠原直明 《航空環境研究センター所長》

概要 時代とともに航空交通の状況、機種や運航方法、便数が変化し、騒音状況や苦情、騒音影響の見方も変化している。それらを踏まえ、本稿では航空機騒音評価に関する最新の知見を紹介し、基本となる騒音評価量 L_{den} の考え方や意味について説明する。また、航空機騒音の影響を予測する際の基本的な考え方についても併せて説明する。

(4) 講演 【騒音に関わる健康リスク】

講師 後藤恭一 《空環境研究センター 調査研究部 部長代理》

講師 金子哲也 《杏林大学教授 保健学博士》

概要 技術や騒音軽減対策が功を奏して航空機騒音は過去数十年で発生レベルの低減化は着実に進行してきた。しかし、空港周辺は言うまでもなく、環境基準以下の地域においても苦情が発生するとともに、同時に騒音による身体影響への不安の声も聞く。そこで、航空機騒音対策に対応する関係者において重要と思われる、聞こえの仕組み、騒音に関わる健康リスクについて概説する。

(5) 講演 【航空機運航と大気環境・地球温暖化】

講師 橋本弘樹 《航空環境研究センター 主任研究員》

講師 鈴木孝治 《慶應義塾大学教授 工学博士》

概要 航空機エンジン排出物の種類と量、及びそれらの空港周辺大気や地球環境大気への影響などに関する理解に役立つ説明と資料を提供する。航空機エンジン排出物については、航空機エンジン排出物の測定データ、排出ガス拡散シミュレーションによる予測データなどを紹介する。また、空港周辺大気への影響や地球環境大気への影響については、大気についての環境基準や国際民間航空機関の航空環境保全委員会（ICAO / CAEP）の考え方などを中心に概説する。

(6) 講演 【航空機の運航と航空管制】

講師 高橋 英昌 《航空環境研究センター 調査役》

概要 日本の空には一日 5 千機余りの旅客機が飛び交っており、羽田空港だけをとっても約 1,200 機が離発着している。多くの航空機を秩序良く飛行させる役目を担う航空管制業務について概要を説明し、航空機の運航方式と空港毎に実施されている滑走路の使用法や飛行経路について具体的な解説を行う。

(7) 講演 【航空機騒音の測定・評価方法】

講師 篠原 直明 《航空環境研究センター所長》

概要 環境基準の達成および維持する上で、航空機騒音の実態を適切に測定し評価することが重要である。そこで航空機騒音測定および評価に関する基礎知識やその考え方について、主に環境省が定めた航空機騒音測定・評価マニュアルに基づき解説を行う。

(8) 実習 【騒音計の取扱いと航空機騒音の測定実習】

講師 後藤 恭一、橋本 弘樹 《航空環境研究センター》

概要 実習形式により、実際に測定機器を使用して計測技術の習得を目指す。まず、騒音計の管理方法について解説を行い、取扱いについて実習を行う。さらに、騒音計を用いて航空機騒音の測定実習を行い、測定結果を集計整理し、評価値を算出する方法についても実習と解説を行う。

(9) 【航空環境研究センターの業務紹介】

平 藪 好 行 《航空環境研究センター 担当部長》

第41回空港環境対策担当者研修申込書 兼 受付票

【FAX: 03(6721)5272】

【E-mail: aerc@aeif.or.jp】

【申し込み締め切り: 9月16日(金)】

フリガナ	
氏名	
勤務先名称	
所属部・課	
勤務先住所	〒
TEL	
FAX	
E-mail	
パソコン持参	可 ・ 不可 (電源の確保のため、いずれかに○をお付け下さい。)

受講希望欄 (チェックして下さい)	<input type="checkbox"/> 10月20日(木) 午前
	<input type="checkbox"/> " 午後
	<input type="checkbox"/> 10月21日(金) 午前
	<input type="checkbox"/> " 午後

なお、申し込み確認後、受付印・受付番号を押印の上、FAX又はメールで、9月26日(月)までに本票を送信します。
届かない場合は、担当者までご連絡下さい。

問い合わせ先

一般財団法人 空港環境整備協会
航空環境研究センター
担当者 平藪好行
電話 03(6721)5271

受付印

受付番号

()

◎標記研修への参加を受付けました。

◎当日は、本票をご持参下さい。